



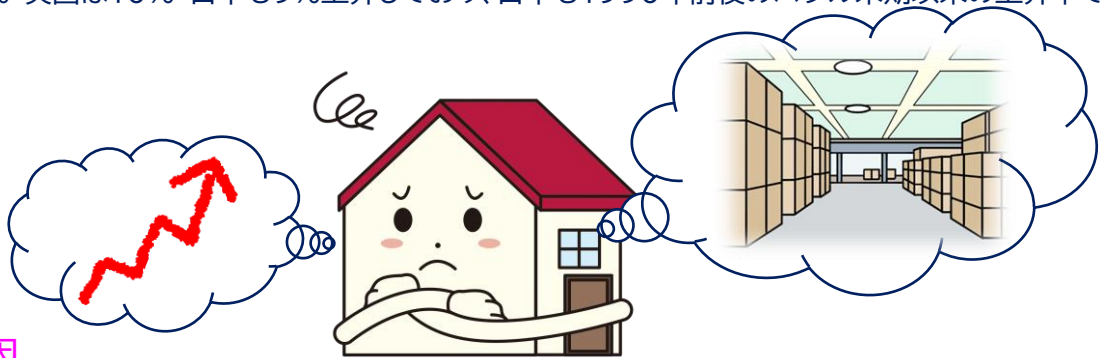
## これから時代の潮流はどうか？

### 世界的なインフレ

ウクライナ問題を発端にして、ガス、石炭、石油等のエネルギーが空前の高値となっており、食糧不足による資源インフレが続いています。

### 住宅価格の高止まり

住宅価格の高騰が歴史的な水準に達しています。投資の過熱や資源高を背景に先進の住宅価格の伸び率は2022年1～3月期に前年同期比15%高を記録しました。これは第一次石油危機以来、半世紀ぶりの高水準です。金融引き締めにより米国などでは住宅着工が減少に転じましたが、価格はなお高止まりが続いています。国別では、米国が19% 英国は10% 日本も9%上昇しており、日本も1990年前後のバブル末期以来の上昇率です。



### 価格上昇の原因

1. 投機の過熱(主要国の中銀はコロナの流行に対応して利下げと大幅な金融緩和に動き、あふれたマネーは住宅市場や株式市場に流れ込みました。)
2. コロナ禍による供給制約と住宅機会の増加(こうした状況も住宅価格の上昇に拍車をかけウッドショック等により住宅資材の高騰。在宅勤務の普及は郊外の戸建ての需要を高めました。)

### 足元の変化

各国、中央銀行が金融引き締めへ転じ住宅市場にもその影響が表れ始めています。米国で、30年固定の住宅ローン金利が6月下旬に5.8%と、14年振りの水準となり、消費者の購入意欲を削ぐ格好となっています。7月の米住宅着工は前月比9.6%減で中古住宅販売も5.9%減りました。中古住宅の販売価格はそれでも10.8%上昇しており、住宅価格が高水準で続く懸念は強いと感ずます。「住宅価格の下落には時間が必要だ」と言われています。金融引き締めの効果が表れるまで今しばらく時間がかかりそうです。

### 港頭在庫の増加

ロシアのウクライナ侵攻時にウッドショックから脱しつつあった木材業界は、第二次ウッドショックを懸念して第二クォーター(4～6月)の契約を大幅に増やしました。その玉が現在集中して入港し、港頭在庫が大きく増えています。

### そして円安

140円超という、ここしばらくない円安現象が起こっています。FRB(連邦準備理事会)はインフレ対策が不十分として更に利上げ予定に言及しております。反面日本は低金利維持政策(GDP250%以上の債務残高から金利を上げられない)で、金利差拡大を見越して円が売られています。更に中国は日本国債を大量に保有しており(約24兆円)これが売られれば更なる円安の懸念も考えられます。

## 安くない外材

インフレが収まらない西側各国と日本とでは状況が異なります。FRBは今年初、消費者物価指数が上昇した際も一過性の現象として対応が遅れたことが現在深刻なインフレを招いた反省から、多少景気が悪くともインフレ退治に集中する方向かと思えます。

日本の港頭在庫の大幅増加から一時的に在庫処分で安い玉が放出されても中期的にインフレと円安により外材価格は下支えされると考えます。

## 国産材自給率

国産材自給率は、戦後ほぼ100%から外材入荷が増えるにつれどんどん低下しており、平成12年にはとうとう20%を割りました。(18.2%)

その後、合板の国産材化や集成材利用等で直近42%に達しています。

この数字は 食料自給率 37%、エネルギー自給率 12%と比較しても高くなっています。しかし、すべて国産材で総需要量をカバーできる位、森林資源は増加しています。世界の森林率は30%、日本は67%(森林資源54億m<sup>3</sup>、この半世紀で3倍に)もある日本の森林を利用しない手はありません。

## 時代の潮流を先取りしよう

エネルギーが一時的には高騰しています。

しかし国産社会の潮流は脱炭素化であり、2050年カーボンニュートラルを目指し、2030年46%減に向けての目標に向け世界は動いています。

木材のCO<sub>2</sub>吸収効果やCO<sub>2</sub>を炭素として固定化する機能が世界的に見直されています。

更に、国産材は外材を化石燃料使って輸入するケースと比較して、CO<sub>2</sub>排出が(1/2~1/4)となります。こうした理由から国産材(特に県産材)を使用し省エネの住まい空間の創造こそが、これからの時代の潮流かと考えます。

(ぎふの木ネットメルマガ 第40号より)

## 地域工務店さん 百花繚乱……その先に地方創生

一社ごとの広報雑誌を作るため、MOKUTOWN 加入のビルダーさん2社を訪問しました。

### 家具からはじめる 家づくり

まず1社目は市内のC社さん。C社の社長さんは年齢も若く、さらにスタッフも女性が多く活気がある印象を受けました。家具にこだわりがあり、オリジナル家具やオリジナルキッチンで差別化を図っています。現在本業エリアでモデルハウスを2棟建てられました。1棟は白の外観で、もう1棟は黒の外観で一階の外壁に木材を使用しており、両タイプともおしゃれ感満載です。

譲れないポイントはムク仕様。フローリングは、1Fにメイプル、2Fにパインを使用して、家具もほとんどが天然木仕様となっています。キッチンもムク素材やガラススタイル、壁材も塗り壁のようにムク材をバランス良く使っており、全体のデザインとの調和を考えられています。

お祖父さんが、郡上の出身で山もあり木にも大変愛着があるとの事。

### <ぎふの木ネットについてお聞きしました>

工務店1社だけではできない事が、大勢のパワーが結集されれば大きな力となります。そのため資材の共同購入等によるコストダウンも更に進めて欲しいとの事でした。又、構造材の共通プラットフォーム化には賛意を示され、今後、柱・桁 等構造材に岐阜の木である刻印等があれば更に差別化できるとも。更に、YouTuberやSNS利用のPR方法を駆使して、ローコストで実効性のある受注活動が、できるのではというご意見もありました。日本の銘木であるケヤキのハイドアができないかとの具体的なご要望も頂きました。

### 職人育成がDNA



次に訪れたのは郡上エリアのA社さん。社長さんの経歴も異色で、営業から現場監督を経て大工職人を10年ほど、そして現在の社長業へ。

### <職人さんの地位向上へ ➡ 大工職人80人のネットワーク>

ご本人の職人体験から、職人さんの地位向上への想いが、行動の原点になっていると感じました。

職人力を向上させることが大きな差別化となり、それを新しいビジネスモデルとして展開したいお考えの様です。

### <職人を活かす為のリノベーション>

デザイン性のあるリノベは、職人や監督の技術が試され、熟練の職人の腕の見せどころ。

今後、空き家の増加が予測され、リフォームの増加も予測されますが、資産価値の向上に貢献するリノベは大きな潮流となる予感を感じました。

現在、都会では墨付け可能な大工さんも減っており、大手ビルダーの下請けに入れば、仕事はあるものの、時間に追われ食事をする暇もないケースもあるようです。体だけが資本で年間収入も不安定では、保険にも入りづらい……。技術をつなぐ重要性や、人が持つ力が正当に評価される仕組みへの熱い志に共感致しました。

## <ぎふの木ネットについてお聞きしました>

自分たちの活動が世の中のためになるような仕組みを考えてほしい。更にMOKUTOWN加盟店個々の特長がもっと明確にアピールできる工夫や、そこにしかない情報や商品等で人がどんどんMOKUTOWNに集まる仕組みを考えて欲しい等、具体的な課題をいただきました。又 川上・川中・川下を結ぶ県産材サプライチェーンにも賛意を示していただき心強く感じました。

更に今後の住まいづくりへのテーマは **エネルギー** が大きなポイントになるのではとのご意見、これも同感でした。

## ぎふの木ネット今後の方向性

ぎふの木と地域のビルダーさんと共に地方創生を旨とする方向は変わりません。ただ世の中の急激な変化の中で課題も少しずつ変化している事も確かです。



**DX…デジタルトランスフォーメーションと共にGX…グリーントランスフォーメーションを実現する**  
DXについては MOKUTOWNを通して更に発展させると共に資材のパッケージ化、構造材の共通プラットフォーム化等で実現して参ります。

GXについては、脱炭素化 や エネルギー削減 を切り口として県産材のサプライチェーン、CO2固定等の見える化を図って参ります。

現在30万人ほどいる大工職人さんの人数が、今後10年で1/3減少する予測があり、大工さん不足で家が建てられない懸念もでてきました。私達は職人さんのネットワーク化、生産性向上の仕組み作りに着手します。

地方の創生には、多くの業者が関係する地域のビルダーさんの存在が欠かせません。それぞれ各社の個性・特長を明確に主張して咲き誇る。これこそが地域工務店さん百花繚乱……その先に地方創生が見えてきます。

ぎふの木ネット、及びMOKUTOWNの挑戦はこれから加速いたします。希望が持てる未来実現に向け皆様 何卒よろしく ご協力お願い申し上げます。

(ぎふの木ネットメルマガ 第41号より)

## 会員様向け PRコンテンツ制作セミナーを開催します！

2022年9月より、集客・広報やWEBページに情報掲載するための写真撮影、写真加工やYoutubeへの動画掲載などが学べるセミナーのシリーズを開催しております。

10月28日には、PRコンテンツ制作セミナーの第1回としまして、皆様の身近にあるスマートフォンを使った自社PRに使える写真の技術が学べるセミナーを開催します。

ぎふの木ネットのパンフレットやサイト制作にも携わっているプロのカメラマンが、実技指導も交えながら写真撮影のポイントを伝授します。

オンライン参加も可能ですのでこの機会にぜひご参加ください。

日時:10月28日(金) 10:00~11:30

場所:板蔵ファクトリー(株) 4F 瑞穂市稲里88-1 もしくはZOOM

	テーマ
2022年 10月	スマートフォンで撮る写真を極める
12月	工務店が集客アップの為にすべきこと【WEB広告編】 (ぎふの木ネット総会と同時開催)
2023年 2月	2022年の集客状況から見る工務店集客トレンド
3月	写真の加工の仕方
5月	KengakuCloud導入社の集客成功事例
6月	動画を自社PRに使う(Youtubeへの動画アップ方法)

今後のセミナーの予定は左記の通りとなります。

申込みにつきましては、FAX・メール・電話のほか、予約システムからも受け付けております。

詳しくは、同封のチラシもしくは掲載のQRコードからご確認ください。





# これまでのセミナー動画を公開しました

ぎふの木ネット会員サイトにて、過去のセミナー配信の動画を公開しました。

会員サイトへは、ぎふの木ネットのトップページ右上の「会員サイトへ」から入れます(写真参照)

IDは gifunokinet  
パスワードは gifunoki2019  
となります。

セミナーはイベントの集客や広報についてなどが学べる内容になっております。

集客のヒント取得や社内教育などにぜひ活用していただけたら幸いです。



## ぎふの木ネット協議会 総会を開催します

ぎふの木ネットの総会を開催いたします。皆様にお集まりいただき、今後の方針などを発表します。

開催日: 令和4年12月16日(金) 13:00~15:30

開催場所: 岐阜グランドホテル

内容等の詳細につきましては、別紙にてご連絡いたします。

協議会からの大切な発表がございますので、各社1名以上のご参加をお願いいたします

## 得値情報、配信！

★得値情報★  
配信！

ぎふの木ネット協議会の公式ラインの登録をお願いします。

協議会会員限定の得値情報・新商品情報・イベント情報などを配信します！！



## 会員の方への情報を募集します

会員の皆様へのご報告として、ぎふの木ネット通信を発行し(年6回程度)、協議会の活動報告などをお伝えしていきます。

今後は会員の皆様同士の情報共有を図るために、皆様からの貴重な情報を頂き、その情報を会員の皆様へ周知したいと考えております。

会員の皆様にお知らせしたい内容などありましたら、事務局までご連絡ください。

(チラシなどの印刷物をご提供頂ければ、ぎふの木ネット通信の中に同封して会員の皆様にお送りします。)

ぎふの木ネット協議会事務局

岐阜県羽島郡岐南町みやまち1-3 ヤマガタヤ産業(株)本社内

TEL 058-271-3111